

# 新法人設立・大学再編に係るこれまでの経緯

(平成30年6月28日～令和5年3月2日)

令和5年7月31日現在



**平成 30(2018)年 6 月 28 日** 静岡大学・浜松医科大学連携協議会設置に関する共同記者会見

**平成 30(2018)年 7 月 4 日** 浜松医科大学将来構想に関する報告会 浜松医科大学教職員 210 名参加

**平成 30(2018)年 7 月 23 日** 第 1 回静岡大学・浜松医科大学連携協議会  
専門委員会の設置について意見交換

**平成 30(2018)年 7 月** 浜松市が「平成 30 年度地方大学・地域産業創生交付金」(内閣府)に申請  
[申請受付期間：7 月 23 日～7 月 27 日] (結果：不採択)

**平成 30(2018)年 7 月 27 日** 「国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)」(文部科学省)に申請  
構想名「地域の知の拠点としての機能強化のための静岡県の国立大学将来構想」  
(結果：不採択)

**平成 30(2018)年 8 月 3 日** 静岡大学将来構想に関する対話集会  
浜松キャンパス 教職員約 50 名参加

**平成 30(2018)年 10 月 3 日** 平成 30 年度第 7 回静岡大学企画戦略会議  
浜松医科大学から山本理事が出席し、意見交換。その中で「一法人 1 大学は考えていない」旨の説明

**平成 30(2018)年 10 月 11 日** 静岡大学将来構想に関する対話集会  
人文社会科学部 教職員約 70 名参加

**平成 30(2018)年 10 月 15 日** 静岡大学将来構想に関する対話集会  
理学部 教職員約 40 名参加

**平成 30(2018)年 10 月 16 日** 国立大学の一法人複数大学制度等に関する調査検討会議ヒアリング受審

**平成 30(2018)年 10 月 16 日** 静岡大学将来構想に関する対話集会  
農学部 教職員約 40 名参加

**平成 30(2018)年 10 月 24 日** 静岡大学将来構想に関する対話集会  
教育学部 教職員約 30 名参加

**平成 30(2018)年 11 月 14 日** 静岡大学将来構想に関する対話集会  
学内共同教育研究施設等 教職員約 15 名参加

**平成 31(2019)年 1 月 31 日** 国立大学の一法人複数大学制度等に関する調査検討会議(最終まとめ)

**平成 31 (2019) 年 2 月 22 日** 第 6 回静岡大学・浜松医科大学連携協議会  
法人統合・大学再編のための合意書骨子（案）について意見交換

**平成 31 (2019) 年 3 月 26 日** 「国立大学の一法人複数大学制度等について」報告書とりまとめ

**平成 31 (2019) 年 3 月** 両大学の学内会議で合意書について審議

浜松医科大学の合意書機関決定の経緯

**平成 31 年 3 月 13 日** 第 171 回教育研究評議会

静岡大学との法人統合（新法人設立）及び大学再編について説明があり、審議の結果、全会一致で承認した。引き続き議長から、両法人が交わす合意書及び確認書（案）について配付資料に基づき、合意書及び確認書（案）に記載の内容を全文読み上げた上で説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

**平成 31 年 3 月 14 日～18 日** 経営協議会

静岡大学との法人統合及び大学再編について、持ち回り審議の結果、原案を承認した。  
承認する 13 人 承認しない 0 人

**平成 31 年 3 月 18 日** 第 171 回役員会

議長から、静岡大学との連携について、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、全会一致で承認した。

静岡大学の合意書機関決定の経緯

**平成 31 年 3 月 19 日** 平成 30 年度第 11 回教育研究評議会

浜松医科大学との法人統合及び大学再編について審議。議論の後、「採決をとるべきとの動議が出され、動議についての議論を行い、挙手による採決を行った結果、過半数の賛成となった（出席委員 27 名中、賛成 14 名、反対 13 名）。その後、本件について平成 31 年 3 月末の合意とその後の関係機関等との協議や浜松医科大学との具体的な協議を行うことについて無記名投票を行い、過半数の賛成があり（出席委員 27 名中、賛成 14 名、反対 13 名）、可決された。」

**平成 31 年 3 月 27 日** 平成 30 年度第 8 回経営協議会

「浜松医科大学との法人統合及び大学再編について資料 1 により提案があり、また、これまでの経緯、目指す方向性、教職員が抱える懸念への対応、今後検討する大学の名称、学内での議論等について説明」し、審議。

その後、「国立大学法人静岡国立大学機構設立及び大学再編に関する合意書（案）及び確認書（案）（以下、「合意書等」という。）に調印し、関係機関等との協議や浜松医科大学との具体的な協議を進めたい旨、説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。」

**平成 31 年 3 月 28 日** 平成 30 年度第 24 回役員会

「国立大学法人静岡国立大学機構設立及び大学再編に関する合意書（案）及び確認書（案）について提案説明があり、審議の結果、原案を議決した。」

**平成 31 (2019) 年 3 月 27 日～28 日** 第 7 回静岡大学・浜松医科大学連携協議会（メール審議）

「国立大学法人静岡国立大学機構設立及び大学再編に関する合意書及び確認書について、資料により提案があり、原案どおり承認した。」

**平成 31 (2019) 年 3 月 29 日**

「国立大学法人静岡国立大学機構設立及び大学再編に関する合意書」・「確認書」締結  
国立大学法人静岡国立大学機構（仮称）設立及び大学再編に関する合意書締結についての共同記者会見

**令和元(2019)年5月9日** 第8回静岡大学・浜松医科大学連携協議会

法人運営検討専門委員会の下に事務組織運営検討WGの新設、「それに伴い財務運営検討WG及び人事管理システム検討WGを事務組織運営検討WGの下に置かれるSWGとした旨」が報告された

**令和元(2019)年6月26日** 第9回静岡大学・浜松医科大学連携協議会

「大学の再編方法について資料10により説明があり、その結果、浜松地区の新大学の設置方法は「浜松医科大学に静岡大学浜松キャンパスの2学部を移すとともに、大学名称を変更し新大学に再編」という方法で設置審申請をすることとした」

**令和元(2019)年7月9日** 静岡市議会自民党市議団が構想に反対の意向表明

「静岡市議会の最大会派自民党市議団は9日、統合・再編に反対の意向を示した。」【静岡新聞令和元年7月10日朝刊4面から一部抜粋】

**令和元(2019)年7月12日** 学校教育法等の一部を改正する法律等の施行について（通知）

留意事項「今般の改正により、国立大学法人が二以上の国立大学を設置することができることとなる（中略）当該制度を活用するに当たっては、関係大学はもとより、地元自治体等の関係者の理解を十分得て進めるべきであること」

**令和元(2019)年7月19日** 「国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)」(文部科学省)に申請

**令和元(2019)年7月24日** 第10回静岡大学・浜松医科大学連携協議会

新法人設立の目的について合意した

**令和元(2019)年8月** 静岡市議会が申し入れ書を文部科学省へ提出

「これでは現在進められている静岡大学の統合再編案は無効であると言っても過言ではありません。市民の代表である我々市議会としては、このような状況を見過ごすことはできないとの考えから、8月に、市議会全会派一致で連名にして申し入れ書を文部科学省へ提出をいたしました。」【静岡市議会 令和元年9月定例会（第2日目）会議録から一部抜粋】

**令和元(2019)年9月25日** 第11回静岡大学・浜松医科大学連携協議会

浜松地区大学の名称案を、「浜松医科工科大学」「浜松国立大学」の2つに絞り、「最終的には、11月開催の連携協議会での決定を目途とする。」

**令和元(2019)年9月26日** 静岡大学長が静岡市長に静岡大学将来構想協議会設置の申入れ

静岡大学石井学長が静岡市長に「静岡市との包括連携に関する協定の一環として、“静岡大学将来構想協議会”を設置し、現在大学側が検討している法人統合や大学再編等について、協議会としてゼロベース※での議論をお願いしたい」と申入れ

※ゼロベース（静岡大学令和元年度第7回教育研究評議会）

「大学の立場を説明し、また市からの意見も聞くなどして、自由に意見交換をすることであり、現在の統合案の白紙化は意味していない」「大学案への反対意見も含む自由な意見交換」

**令和元(2019)年10月29日** 「国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)」交付決定  
決定通知書の送付文中に、文部科学省高等教育局国立大学法人支援課長名で、「本事業は、国立大学法人の統合等の内容が含まれた構想となっていますが、令和元年7月12日付元文科高第228号『学校教育法等の一部を改正する法律等の施行について(通知)』に記載のとおり、一法人複数大学制度を活用するに当たっては、地元自治体等の関係者の理解を十分に得て進めるべきであることにご留意願います。」の記載

**令和2(2020)年1月24日** 静岡大学将来構想協議会設置  
令和2(2020)年1月29日から令和3(2021)年3月29日まで本会議6回、WG5回を開催

**令和2(2020)年1月29日** 第1回静岡大学将来構想協議会  
静岡大学石井学長が静岡大学の大学改革案について説明をした。

**令和2(2020)年2月18日** 浜松医科大学－静岡大学農学部研究情報交換会  
両校合わせて83名参加

**令和2(2020)年2月27日** 第16回静岡大学・浜松医科大学連携協議会  
浜松地区の大学運営検討専門委員会の下に「組織・業務運営検討WG」と「教育・研究にかかるWG」の設置を連携協議会として確認

**令和2(2020)年4月30日** 第18回静岡大学・浜松医科大学連携協議会  
新法人設立・大学再編計画書(仮称)(案)の以下の各項目の「内容等については引き続き検討することとした。」

「新法人設立の時期：2022年4月新法人設立・大学再編及び学生受入」

「法人統合の仕方：浜松医科大学法人を解散し、静岡大学法人が新法人名称に変更する。浜松医科大学法人のもつ権利義務の承継を静岡大学法人に行う方法により、新法人設立」

「静岡地区大学本部の設置場所：静岡大学大谷キャンパス」

「新法人名称：静岡国立大学機構(仮称) ※最終的には国立大学法人法の改正をもって決定」

**令和2(2020)年9月24日** 浜松市長が文部科学大臣に構想実現支援の陳情  
「浜松市の鈴木康友市長は24日、文部科学省で萩生田光一文科相と会談し、静岡大と浜松医科大の法人統合・大学再編計画について、両大学の合意を前提に政府に支援を求めた。」【産経新聞令和2年9月25日朝刊23面から一部抜粋】

**令和2(2020)年10月14日** 浜松地区大学再編・地域未来創造会議設置  
令和2(2020)年10月28日から継続中 5回開催(R4.12.31時点)  
浜松市が「静岡大学と浜松医科大学の法人統合・大学再編を踏まえ、地域が一体となり、産学官のより一層の連携強化等、大学と地域の未来に向けた発展的な協議を行うため会議を設置する」

**令和2(2020)年10月19日** 静岡大学学長適任候補者意向投票開票結果の公示

学長適任候補者	役員及び教員	附属学校園の教員	職員
川田 善正	251票	80票	124票
日詰 一幸	328票	53票	156票

**令和2(2020)年10月20日** 静岡大学学長候補者決定の公示及び学長候補者の会見  
静岡大学学長選考会議から「合意書の内容、これまでの審議を尊重し、対応していくことを期待する」という附記事項が示された。

**令和2(2020)年10月23日** 静岡大学次期学長への静岡新聞社インタビュー  
「日詰氏は、19年3月に両大が署名した合意書について『破棄するとは一度も言っていないし、尊重する』と説明」【静岡新聞令和2年10月24日朝刊から一部抜粋】

**令和2(2020)年10月28日** 第1回浜松地区大学再編・地域未来創造会議  
「行政だけでなく、地域の経済界、医学界などオール浜松で応援していかなければならない」「浜松地区、静岡地区に大学を設置してそれぞれの特色を生かしていくことが必要であり、それがそれぞれの地域の発展に資することとなる」など、法人統合・大学再編への支援・後押し

**令和2(2020)年11月30日** 「国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)」フォローアップヒアリング

#### **令和3(2021)年1月** 法人統合・大学再編実施延期に関する状況説明

浜松医科大学の法人統合・大学再編実施延期決定の経緯

**令和3年1月25日** 第192回教育研究評議会

**令和3年1月27日** 第68回経営協議会

**令和3年1月27日** 第189回役員会

それぞれ、法人統合及び大学再編の延期について審議の結果、全会一致で承認した。

静岡大学の法人統合・大学再編実施延期決定の経緯

**令和3年1月27日** 令和2年度第10回(臨時)教育研究評議会

令和4年4月からの新大学での学生受入れは行わないとの提案があり、これを承認した。

**令和3年1月27日** 令和2年度第10回経営協議会

令和4年4月からの新大学での学生受入れは行わないとの提案があり、これを承認した。

**令和3年1月27日** 令和2年度第22回役員会

新法人設立・大学再編に関し、令和4年4月から新大学での学生受入れは行わないとの提案説明があり、審議の結果、原案を議決した。

#### **令和3(2021)年1月29日** 法人統合・大学再編に関する共同記者会見

(浜松医科大学ウェブサイト掲載記事から)

「地域の理解を十分に得られていない状況で予定どおりのスケジュールでの構想実現は困難との認識に至り、両大学間のみならず地域関係者とも引き続き更なる発展・充実策を検討し、地方創生に資する魅力ある国立大学を目指すべく法人統合・大学再編の実施時期を延期することを発表」

(静岡大学ウェブサイト掲載記事から)

「当初の日程で進めることは困難であり、引き続き学内外の理解を得ながら検討していく必要があると考え、両大学内会議及び静岡大学・浜松医科大学連携協議会の承認を経て、延期を決定したことを発表」

#### **令和3(2021)年2月24日** 第2回浜松地区大学再編・地域未来創造会議

大学再編による浜松地区大学の将来や、地域産業や地域活性化にどのような影響があるかについて議論。

浜松市長から「引き続きオール浜松でこの取組を応援していきたい」との会議まとめ。

### 令和3(2021)年3月29日 第6回静岡大学将来構想協議会

終了にあたって「静岡大学将来構想協議会のまとめ」を公表

「1はじめに」において、「協議会の中では、静岡大学が浜松医科大学と法人統合することには理解が示された。しかし、静岡大学を分割して地区ごとの大学に再編する点については、特に静岡キャンパス側のメリットが分かりにくく理解しかねるという多くの意見や、統合・再編のあり方を議論する前段階として、そもそも総合大学としての静岡大学の将来像が見えてこないなどの課題があるという意見が出ていた」

「本協議会では、ワーキンググループを設け、大学行政経験のある有識者の協力を得て、静岡という地域が直面する課題について理解を深めながら、そこに所在する大学が果たすべき役割は何か、そしてその課題の解決のために地域と大学がどのように協働できるかといった視点で議論を重ね、今回、提言としてまとめた」

### 令和3(2021)年4月1日 静岡大学日詰学長就任・新執行部発足

### 令和3(2021)年4月19日 第29回静岡大学・浜松医科大学連携協議会

連携協議会や専門委員会等における合意事項及び検討事項の確認を行った後、これまでの合意・検討内容をもとに、引き続き検討していくことを確認した。

### 令和3(2021)年6月4日 第30回静岡大学・浜松医科大学連携協議会

浜松医科大学から「(議論が)一法人一大学の話まで戻るのはあり得ない。」「現行の2大学を維持しての法人統合という形は全く考えていない。」等の見解が示された。

### 令和3(2021)年6月10日 「国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)」フォローアップヒアリング

新法人設立、大学再編も含めた、両大学が掲げる大学改革構想を進めるとの説明をした。

### 令和3(2021)年6月29日 第31回静岡大学・浜松医科大学連携協議会

法人運営検討専門委員会からの報告後の意見交換で、浜松医科大学から「大学再編のかたちはいくつもあるという意見が出たが、再編のかたちは1つしかない。」「大学再編の形を両大学で説明し、学内外に謳っているため、大きな変更はあり得ない。」「静岡大学内の議論によって根幹を変えるということは許容できる範囲を超えている。」といった意見があった。

### 令和3(2021)年6月30日 「国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)」採択事業フォローアップにおける所見

「補助金による支援の継続に当たっては、以下の事項について確実に対応することが不可欠」として示された。

・静岡大学が有する知的資源を起点としつつ、特に静岡地区において、新たな強み、特色の創出も含めた改革像を早期に具体化すること。

・その中で、静岡大学将来構想協議会の提言等も踏まえ、新たな学部の創設や県立大学との連携など、県内の公私立大学を巻き込んだ体制の構築等について速やかに具体化すること。

・浜松地区における医工情連携等により生み出される成果の静岡地区も含めた県域全体への波及を実現す

るための方策について、浜松地区側が主体的に取り組むこと。

**令和3(2021)年7月30日** 第3回浜松地区大学再編・地域未来創造会議

静岡大学日詰学長の「当初の構想をさらに充実、発展させた改革にすべく、私どもとして、特に、新学部を構想しようということ」「当初の予定からは遅れているということに関しましては、心からおわび申し上げさせていただきたい」等の発言を受け、浜松市長から「基本的な方針は変更されていないことを確認し、安堵した」との会議のまとめがあった。

**令和3(2021)年9月14日** 静岡大学理学部－浜松医科大学研究情報交換会

両校合わせて113名参加

**令和3(2021)年11月12日** 「国立大学改革強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）」事業期間を通じた評価に関する調書 提出

両大学で2大学を再編して新たな1法人2大学とする計画を文部科学省に示した。

**令和3(2021)年12月27日** 浜松医科大学－静岡大学教育学部研究情報交換会

両校合わせて70名参加

**令和4(2022)年2月3日～令和4(2022)年5月31日** 静岡大学将来構想推進会議

令和4(2022)年2月から令和4(2022)年5月まで本会議2回、WG2回を開催

「静岡大学将来構想協議会のまとめ」を受けた取組や地域と大学との連携に向けた取組について検討を行うため、静岡市が設置

**令和4(2022)年2月22日** 「国立大学改革強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）」事業期間評価ヒアリング

新法人設立、大学再編も含めた、両大学が掲げる大学改革構想を進めるとの説明をした。

**令和4(2022)年3月18日** 静岡大学が文部科学省へグローバル共創科学部（仮称）の設置認可申請

**令和4(2022)年3月31日** 「国立大学改革強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）」事業期間を通じた評価

国立大学改革強化推進補助金に関する検討会における審査【評価結果：C】

「当初の構想に沿った取組が行われておらず、十分な成果が得られているといえないことから、本事業の目的を達成できなかったと評価する。」

**令和4(2022)年4月27日** 浜松医科大学－静岡大学人文社会科学部研究情報交換会

両校合わせて48名参加

**令和4(2022)年5月26日** 第42回静岡大学・浜松医科大学連携協議会

新法人設立・大学再編の進め方に関して、5月25日に開催された両大学の学長会談について以下の報告があった。

- ・ 両大学が、今後とも非常に重要なパートナーであることを確認した。

- ・ 法人統合・大学再編について、具体的な日程を詰めた形の結論は出せなかったが、今後も建設的な対話を継続していく。
  - ・ 今後、トップ会談を定期的に開催して両大学での意見や進捗状況を確認し、方向性を見据えていく。
  - ・ 連携協議会の下に置かれている専門委員会をはじめとした下部の会議体もこれまでどおり進めていく。
- また、浜松医科大学から改めて「大学再編なくして法人統合はあり得ない」という基本的なスタンスが示された。

#### **令和4(2022)年5月31日** 第2回静岡大学将来構想推進会議

終了にあたって「静岡大学新学部「グローバル共創科学部（仮称）」へ期待すること」を公表  
新学部設置を地域貢献の大きな取組として期待し応援する内容

#### **令和4(2022)年7月5日** 第4回浜松地区大学再編・地域未来創造会議

静岡大学長から、「まず取り組むべきことは法人統合ではないかと考えております。両大学のシステムやルールを統一化しまして、業務や予算の効率化を図ります。そして、統合して生み出される果実を戦略的に教育、研究に投入していく。統合して明らかにしたものを見極めた中で、同時に機能強化策を図らなければなりません。その機能強化策の中に、大学統合もあるが、もう一つは法人の統合と大学再編、つまり大学再編と考えております。したがって、まずは、法人統合し、その後、大学統合ないしは大学再編を目指して検討を進めていくことが必要と考えております。」との私案が示された。

座長の浜松市長をはじめ各委員から学長私案に対する反対意見と、統合再編実施スケジュールの遅れ、意思決定の必要性についての指摘。

静岡大学に両キャンパスの将来像と統合再編の工程表の提出が求められた。

#### **令和4(2022)年7月14日** 静岡大学学長メッセージ「静岡大学と浜松医科大学の法人統合・大学再編に対する複数の報道に関して」

第4回浜松地区大学再編・地域未来創造会議(令和4年7月5日開催)で示した学長私案を踏まえて「静岡大学と浜松医科大学の10年後、20年後の未来を見据え、大学の発展・進化を遂げるためには、現在検討されている「大学再編」という選択肢を残しつつも、最終的に「大学統合」を目指すことが最も望ましい姿である」との学長メッセージを静岡大学HPに掲載

#### **令和4(2022)年8月31日** 文部科学省が静岡大学グローバル共創科学部の設置を認可

#### **令和4(2022)年9月27日** 第46回静岡大学・浜松医科大学連携協議会

第4回浜松地区大学再編・地域未来創造会議について報告があり、その後、意見交換

#### **令和4(2022)年10月7日** 第5回浜松地区大学再編・地域未来創造会議

静岡大学長から前回会議同様の学長私案が提示され、浜松市長をはじめ各委員から反対意見があった。陪席した静岡大学の理事から「浜松キャンパスからはかなり皆様、部局長が反対されている案である」との発言。

浜松市長が「田辺市長は、『基本的に大学同士のことですから行政は介入しません。日詰学長の判断を尊重します』というふうにおっしゃった」との静岡市長の見解を紹介するとともに、当構想の趣旨として、特徴のある尖鋭的な大学が教育、研究、地域貢献の役割を担っていくことが前提であることの確認と、構想の実現に時間がかかるのであれば、2大学2法人を検討する必要性について発言があった。

浜松キャンパスや浜松地域からの意見を踏まえて、再度、静岡大学のビジョンの提出を求めた。

**令和5(2023)年2月9日** 静岡大学長と記者との懇談会

静岡大学と浜松医科大学の法人統合・大学再編に係わる「期成同盟会」についての学長と記者との懇談会を静岡大学が開催

日詰学長が「学長就任以降、様々な関係者から、賛否両論の意見を伺った結果、現時点では大学再編よりも大学統合という構想の方が優れている」という考え方を改めて示した。

**令和5(2023)年3月2日** 「静岡大学・浜松医科大学統合・再編促進期成同盟会」発足